

豊島区基本計画(案)新旧対照表

頁	素 案	改 定 (案) ※下線箇所は「素案」からの修正箇所	改定の趣旨
P4	<p>○豊島区基本計画</p> <p>第1編 総論</p> <p>第1章 計画の基本的考え方</p> <p>5 時代の変化に対応した見直しの仕組み</p> <p>基本計画の実施計画として、「未来戦略推進プラン」を策定します。未来戦略推進プランには、基本計画が示す「地域づくりの方向」を具体化するための計画事業を位置づけ、毎年見直しを行っていきます。</p> <p>また、毎年度、行政評価を踏まえて基本計画の進捗状況を確認するとともに、基本計画を実現するために新たな事業が必要な場合は、未来戦略推進プランの中で計画事業を加えるものとします。</p>	<p>○豊島区基本計画</p> <p>第1編 総論</p> <p>第1章 計画の基本的考え方</p> <p>5 時代の変化に対応した見直しの仕組み</p> <p>基本計画の実施計画として「未来戦略推進プラン」を策定します。未来戦略推進プランには、基本計画が示す「地域づくりの方向」を具体化するための<u>主要な手段として、「計画事業」を位置づけます。</u></p> <p><u>計画事業は、必要性、有効性、効率性の観点から事業が適正に行われているかについて、毎年度検証し、必要に応じた見直しに努めるとともに、基本計画を実現するために新たな事業が必要な場合には、未来戦略推進プランの中で計画事業を加えるものとします。</u></p> <p><u>また、基本計画の目標が確実に達成できるよう進捗状況を管理するため、施策ごとに設定された成果指標を最大限に活用した、施策による行政評価を実施します。</u></p> <p><u>このように、施策や計画事業を常にチェックし、改善に結び付けるPDCAサイクルによるマネジメントの仕組みを確立することにより、時代や区民のニーズを的確に捉えた区政運営を実現します。</u></p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>
P13	<p>第2章 基本計画策定の背景</p> <p>2 豊島区の状況</p> <p>(2) 23区で唯一「消滅可能性都市」とされた豊島区</p> <p>【社会移動率の決め方により、大きく異なる将来人口】</p> <p>「日本創成会議」が消滅可能性都市の自治体を抽出する際、基としたデータは、国立社会保障・社会問題研究所（以下「社人研」といいます。）の国勢調査結果による将来人口推計です。</p> <p>社人研では、豊島区の平成22(2010)年の国勢調査に基づく人口動態（平成17(2005)～平成22(2010)年）の傾向が「昭和60(1985)～平成12(2000)年の趨勢から大幅に乖離して増加している」自治体とみて、「短期的には近年の人口動態の傾向が継続するものの、平成27(2015)</p>	<p>第2章 基本計画策定の背景</p> <p>2 豊島区の状況</p> <p>(2) 23区で唯一「消滅可能性都市」とされた豊島区</p> <p>【社会移動率の決め方により、大きく異なる将来人口】</p> <p>「日本創成会議」が消滅可能性都市の自治体を抽出する際、基としたデータは、国立社会保障・社会問題研究所（以下「社人研」といいます。）の国勢調査結果による将来人口推計です。</p> <p>社人研では、豊島区の平成22(2010)年の国勢調査に基づく人口動態（平成17(2005)～平成22(2010)年）の傾向が「昭和60(1985)～平成12(2000)年の趨勢から大幅に乖離して増加している」自治体とみて、「短期的には近年の人口動態の傾向が継続するものの、平成27(2015)</p>	

<p>年以降は平成 17 (2005) 年以前の趨勢に回帰する」との仮定に基づき推計が行われています。</p> <p>多くの自治体が平成 22(2010)年の国勢調査の社会移動率を使用した推計が行われていますが、上記理由により、豊島区の平成 27(2015)年以降の将来人口推計は、平成 17(2005)年の国勢調査(平成 12(2000)年から平成 17(2005)年)の社会移動率を使用した推計が行われています。</p>	<p>年以降は平成 17 (2005) 年以前の趨勢に回帰する」との仮定に基づき推計が行われています。</p> <p>多くの自治体が平成 22(2010)年の国勢調査の社会移動率を使用した推計が行われていますが、上記理由により、豊島区の平成 27(2015)年以降の将来人口推計は、平成 17(2005)年の国勢調査(平成 12(2000)年から平成 17(2005)年)の社会移動率を使用した推計が行われています。 <u>この平成 12(2000)～17(2005)年の期間は、社宅の廃止が集中したことなどに伴い、一時的に人口が対前年を下回る年も出現するなど、5 年間で微増にとどまる時期と重なっており、豊島区の近年における人口の増加傾向が、将来人口に反映されていない推計となりました。</u></p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を追加</p>						
<p>P18 (5) 財政状況の見通し (直近 5 年間の財政状況と今後の見通し(表) の下欄)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">平成22年度末 起債残高 350億円 基金残高 188億円 (財調基金 61億円)</td> <td style="width: 33%;">直近5年の増減 △112億円 112億円 (139億円)</td> <td style="width: 33%;">平成27年度末(見込) 起債残高 238億円 基金残高 300億円 (財調基金 200億円)</td> </tr> </table> <p>P22 第3章 地域経営の方針 1 戦略的な施策展開に関する方針 (2) 安心戦略と成長戦略の好循環 ② 成長戦略 ～価値あるまちづくりを促し、まちの信頼と活力を高める施策を戦略的に展開します～ 一方、豊島区は、「文化」「環境」「都市再生」を成長戦略として位置付けていきます。 「文化政策」により、人を元気づけ、元気な人の活動が魅力と活力を創造することで、価値あるまちづくりの進展を促すとともに、池袋副都心の「都市再生」をドラスティックに進めることで、品格ある街並みや魅力ある店舗の誘致を図り、さらに「環境政策」により、人と環境に優しい四季を感じられるまちづくりを進め、都市としてのイメージを高め、都市としての信頼と活力を高めていきます。 そして、こうした価値あるまちづくりに取り組むことで、地域の個</p>	平成22年度末 起債残高 350億円 基金残高 188億円 (財調基金 61億円)	直近5年の増減 △112億円 112億円 (139億円)	平成27年度末(見込) 起債残高 238億円 基金残高 300億円 (財調基金 200億円)	<p>(5) 財政状況の見通し (直近 5 年間の財政状況と今後の見通し(表) の下欄)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">平成22年度末 起債残高 350億円 基金残高 188億円 (財調基金 61億円)</td> <td style="width: 33%;">直近5年の増減 △112億円 <u>125億円</u> <u>(148億円)</u></td> <td style="width: 33%;">平成27年度末(見込) 起債残高 238億円 基金残高 <u>313億円</u> (財調基金 <u>209億円</u>)</td> </tr> </table> <p>第3章 地域経営の方針 1 戦略的な施策展開に関する方針 (2) 安心戦略と成長戦略の好循環 ② 成長戦略 ～価値あるまちづくりを促し、まちの信頼と活力を高める施策を戦略的に展開します～ 一方、豊島区は、「文化」<u>「産業・観光」</u>「環境」「都市再生」を成長戦略として位置付けていきます。 「文化政策」により、人を元気づけ、元気な人の活動が魅力と活力を創造することで、価値あるまちづくりの進展を促すとともに、<u>「産業・観光」によって都市のにぎわいを創出し</u>、池袋副都心の「都市再生」をドラスティックに進めることで、品格ある街並みや魅力ある店舗の誘致を図り、さらに「環境政策」により、人と環境に優しい四季を感じられるまちづくりを進め、都市としてのイメージを高め、都市としての信頼と活力を高めていきます。</p>	平成22年度末 起債残高 350億円 基金残高 188億円 (財調基金 61億円)	直近5年の増減 △112億円 <u>125億円</u> <u>(148億円)</u>	平成27年度末(見込) 起債残高 238億円 基金残高 <u>313億円</u> (財調基金 <u>209億円</u>)	<p>□財政の収支見通しの見直しに伴う数値の修正</p> <p>□「産業・観光」は都市のにぎわいを創出し、都市の魅力を向上させる分野であり成長戦略に追加</p>
平成22年度末 起債残高 350億円 基金残高 188億円 (財調基金 61億円)	直近5年の増減 △112億円 112億円 (139億円)	平成27年度末(見込) 起債残高 238億円 基金残高 300億円 (財調基金 200億円)						
平成22年度末 起債残高 350億円 基金残高 188億円 (財調基金 61億円)	直近5年の増減 △112億円 <u>125億円</u> <u>(148億円)</u>	平成27年度末(見込) 起債残高 238億円 基金残高 <u>313億円</u> (財調基金 <u>209億円</u>)						

<p>P23</p>	<p>性あるにぎわいや多様なコミュニティと未来を担う人を育て、郷土の誇りを高めていきます。</p> <p>(成長戦略 図)</p> <p>③持続発展都市への展開 ～成長戦略が生む活力により、安心戦略の水準を高める好循環を生みます～ 豊島区が持つ強みを最大限に活かしながら、成長戦略のエンジンを熱く回し続けることで、新たな価値と活力を創造し、そこから生まれる経済力と財政力によって、区民生活の基盤をなす安心戦略の水準を押し上げていくような、好循環をつくりあげていきます。 地域社会の“公共”を広げる「協働」を基本としつつ、「文化」「都市再生」「環境」の3つの政策を展開することで、“人”と“まち”の響き合いを興して未来の扉を開くエネルギーを生み出し、「文化と品格を誇れる価値あるまち」そして「安全・安心を創造しつづけるまち」を織り成していきます。 そして豊島区が将来にわたって持続的に発展する都市へ進んでいきます。</p> <p>(持続発展都市 図)</p>	<p>そして、こうした価値あるまちづくりに取り組むことで、地域の個性あるにぎわいや多様なコミュニティと未来を担う人を育て、郷土の誇りを高めていきます。</p> <p><u>(成長戦略 図)</u></p> <p>③持続発展都市への展開 ～成長戦略が生む活力により、安心戦略の水準を高める好循環を生みます～ 豊島区が持つ強みを最大限に活かしながら、成長戦略のエンジンを熱く回し続けることで、新たな価値と活力を創造し、そこから生まれる経済力と財政力によって、区民生活の基盤をなす安心戦略の水準を押し上げていくような、好循環をつくりあげていきます。 地域社会の“公共”を広げる「協働」を基本としつつ、「文化」「<u>産業・観光</u>」「都市再生」「環境」の4つの政策を展開することで、“人”と“まち”の響き合いを興して未来の扉を開くエネルギーを生み出し、「文化と品格を誇れる価値あるまち」そして「安全・安心を創造しつづけるまち」を織り成していきます。 そして豊島区が将来にわたって持続的に発展する都市へ進んでいきます。</p> <p><u>(持続発展都市 図)</u></p>	<p>□図に「産業・観光」を追加</p> <p>□「産業・観光」は都市のにぎわいを創出し、都市の魅力を向上させる分野であり成長戦略に追加（事務局）</p> <p>□図に「産業・観光」を追加</p>
<p>P26, 27</p>	<p>2 豊島区が目指す都市像 豊島区基本構想では、21世紀の第1四半期を構想の期間として、目指していく豊島区の将来像を下記のように挙げています。</p> <p>未来へ ひびきあう 人 まち・としま</p> <p>この将来像をさらにおしひろげ、地域から新たな価値を生み出し、都市の未来への信頼を高める豊島区の姿を魅力と活力にあふれた、住みたいまち、訪れたいまちの姿として</p> <p>活力：文化と品格を誇れる価値あるまち</p>	<p>2 豊島区が目指す都市像 豊島区基本構想では、21世紀の第1四半期を構想の期間として、目指していく豊島区の将来像を下記のように挙げています。</p> <p>未来へ ひびきあう 人 まち・としま</p> <p>この将来像をさらにおしひろげ、地域から新たな価値を生み出し、都市の未来への信頼を高める豊島区の姿を魅力と活力にあふれた、住みたいまち、訪れたいまちの姿として</p> <p>活力：文化と品格を誇れる価値あるまち</p>	

を挙げています。「文化」は、人と街を元気にし、新たな価値を創造していく、都市活動のエネルギーの源です。「品格」とは、自らの歴史と文化への誇りと、日本や世界の都市を構成する一員としての自覚を持って自らの責任を果たし、持続可能な成長を続ける都市経営に力を尽くす決意と姿勢を表しています。

これは、未来の子どもたちに豊かな文化を創造し続ける地域社会を引き継ぎ、日本一の高密都市として地球環境と生態系に対する責任を果たし、さらに、暮らしと経済活動の安全で快適なステージが作りあげられたまちの姿を表します。

このまちの姿を明確にした都市像として、「文化創造都市」を掲げました。

さらに、安心を肌で感じることができ、住んで良かった、住み続けたいまちの姿として

安心：安全・安心を創造し続けるまち

を挙げています。

これは、行政にとって最も基本的な使命である、福祉、子育て、教育、防災、治安、健康施策を充実させることで、乳幼児期から高齢期まで安全で安心して暮らせることができるまち、さらに、行政を含めたあらゆる主体と地域から見守られることによって、安全・安心を肌で感じ、住んで良かった、住み続けたいと思っただけのまちの姿を表します。

このまちの姿を明確にした都市像として、「安全・安心創造都市」を掲げました。

そして、豊島区が持てる力を最大限に引き出し、都市イメージを向上させ、経済力を高めるとともに地域への誇りと愛着を醸成し、「国際アート・カルチャー都市」へと目指すことで、「未来へ ひびきあう 人まち・としま」を確かなものにしていきます。

豊島区が目指す都市像

世界は、情報技術や交通手段の発達などにより、経済、文化、教育などあらゆる分野でグローバル化が進みつつあります。

を挙げています。「文化」は、人と街を元気にし、新たな価値を創造していく、都市活動のエネルギーの源です。「品格」とは、自らの歴史と文化への誇りと、日本や世界の都市を構成する一員としての自覚を持って自らの責任を果たし、持続可能な成長を続ける都市経営に力を尽くす決意と姿勢を表しています。

これは、未来の子どもたちに豊かな文化を創造し続ける地域社会を引き継ぎ、日本一の高密都市として地球環境と生態系に対する責任を果たし、さらに、暮らしと経済活動の安全で快適なステージが作りあげられたまちの姿を表します。

このまちの姿を明確にした都市像として、「文化創造都市」を掲げました。

さらに、安心を肌で感じることができ、住んで良かった、住み続けたいまちの姿として

安心：安全・安心を創造し続けるまち

を挙げています。

これは、行政にとって最も基本的な使命である、福祉、子育て、教育、防災、治安、健康施策を充実させることで、乳幼児期から高齢期まで安全で安心して暮らせることができるまち、さらに、行政を含めたあらゆる主体と地域から見守られることによって、安全・安心を肌で感じ、住んで良かった、住み続けたいと思っただけのまちの姿を表します。

このまちの姿を明確にした都市像として、「安全・安心創造都市」を掲げました。

世界は、情報技術や交通手段の発達などにより、経済、文化、教育などあらゆる分野でグローバル化が進みつつあります。

<p>特に、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まった東京は、急速に国際化が進み、世界有数の国際ビジネス都市・観光都市に変貌していこうとしています。</p> <p>豊島区も、区民のみなさんが守り伝えてきた伝統的な文化、多くの芸術家を生み出した歴史や風土、若者たちが生み出すポップカルチャーなどの魅力を生かしながら、世界に開かれたまちづくりを進めています。</p> <p>こうして、国際化の大きな流れを受けながら、これからの豊島区が目指す都市像は、世界の人たちと交流し、理解し合える子どもたちを育む「教育都市としま」であり、高齢者や障害者、外国人などすべての人が健康でいきいきと暮らす「福祉健康増進都市」であり、安全・安心な都市空間で若者、来街者が伸び伸びと自己表現する「劇場都市」です。</p> <p>そして、世界一の都市を目指す日本の首都東京の中で、豊島区が今後とも、魅力と活力あふれるまち、誰もが暮らしやすく誇れるまちとして目指す都市像が「文化創造都市」「安全・安心創造都市」をさらに進化させた「国際アート・カルチャー都市」です。</p> <p>(国際アート・カルチャー都市 図)</p> <p>P29 3 国際アート・カルチャー都市 (1) まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市 ① 3つの戦略 【図】 文化戦略⇒多様な文化を活かしたまちづくり</p>	<p>特に、平成32(2020)年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まった東京は、急速に国際化が進み、世界有数の国際ビジネス都市・観光都市に変貌していこうとしています。</p> <p><u>国際化の大きな流れを受けながら、豊島区は、今後とも、魅力と活力あふれるまち、誰もが暮らしやすく誇れるまちとして、「文化創造都市」、「安全・安心創造都市」を進化させた「国際アート・カルチャー都市」を掲げ、この都市像を基本計画で目指す都市像とします。</u></p> <p><u>豊島区が目指す都市像「国際アート・カルチャー都市」</u></p> <p><u>「国際アート・カルチャー都市」とは、安全・安心な都市空間の中で、誰もが多様な文化を享受し合い、世界中の人々を魅了する賑わいあふれるまちの姿です。</u></p> <p><u>一方、文化創造都市と安全・安心創造都市を構成する各分野の施策を分野横断的な都市像として表したのが、「教育都市としま」「福祉健康増進都市」「劇場都市」です。</u></p> <p><u>「国際アート・カルチャー都市」は、世界の人たちと交流し、理解し合える子どもたちを育む「教育都市としま」や、高齢者や障害者、外国人などすべての人が健康でいきいきと暮らす「福祉健康増進都市」を安全・安心な基盤として、若者や来街者たちが伸び伸びと自己表現する「劇場都市」を実現していく、豊島区を象徴する都市像です。</u></p> <p><u>豊島区は、「国際アート・カルチャー都市」の実現を通して、持てる魅力を最大限に引き出し、都市のイメージを向上させ、経済力を高めるとともに地域への誇りと愛着を醸成し、基本構想で目指す将来像「未来へ ひびきあう 人 まち・としま」を確かなものにし、持続発展できる都市としていきます。</u></p> <p><u>(国際アート・カルチャー都市 図)</u></p> <p>3 国際アート・カルチャー都市 (1) まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市 ① 3つの戦略 【図】 文化戦略⇒多様性を活かしたまちづくり</p>	<p>□基本構想審議会委員より「国際アート・カルチャー都市」についての説明及び将来像や他の都市像との関係を記載すべきとの指摘を受け修正</p> <p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p> <p>□図に「産業・観光」を追加</p> <p>□国際アート・カルチャー都市構想との整合を図り修正</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

P33	<p>(3) 学ばせたい 通わせたい 教育都市としま</p> <p>① 小中一貫教育 学びと育ちの連続性</p> <p><u>6</u> 大学との教育連携</p>	<p>(3) 学ばせたい 通わせたい 教育都市としま</p> <p>① 小中一貫教育 学びと育ちの連続性</p> <p><u>7</u> 大学との教育連携</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、修正</p>
P36	<p>4 参画・協働によるまちづくり</p> <p>(2) 多様な主体による協働の推進</p> <p>少子高齢社会の進展や安全・安心なまちづくりへの意識の高まりなど、多様化・複雑化する課題に対応しつつ、区の将来像を実現するためには、行政の取り組みだけでは限界があります。そのため、地域住民である区民や、NPO、ボランティア団体、事業者、大学などが主体となって、互いに連携しながら地域課題の解決に取り組んでいくことが必要です。</p> <p>地域コミュニティの希薄化が豊島区においても指摘されているところですが、近年、主に行政が担っていた活動に民間企業が取り組んだり、社会貢献活動を行う NPO など、地域の課題に主体的に取り組む区民や団体が増えるとともに、その活動範囲についても広がりを見せています。</p> <p>区では、このような多様な主体による協働の取り組みを推進しているところですが、この取り組みをさらに推進するための環境や協働の新たな仕組みづくりを整備していきます。</p>	<p>4 参画・協働によるまちづくり</p> <p>(2) 多様な主体による協働の推進</p> <p>少子高齢社会の進展や安全・安心なまちづくりへの意識の高まりなど、多様化・複雑化する課題に対応しつつ、区の将来像を実現するためには、行政の取り組みだけでは限界があります。そのため、地域住民である区民や、NPO、ボランティア団体、事業者、大学などが主体となって、互いに連携しながら地域課題の解決に取り組んでいくことが必要です。</p> <p>地域コミュニティの希薄化が豊島区においても指摘されているところですが、近年、主に行政が担っていた活動に民間企業が取り組んだり、社会貢献活動を行う NPO など、地域の課題に主体的に取り組む区民や団体が増えるとともに、その活動範囲についても広がりを見せています。</p> <p>区では、このような多様な主体による協働の取り組みを推進しているところですが、この取り組みをさらに推進するための環境や <u>P P P (公民連携)</u> など協働の新たな仕組みづくりを整備していきます。</p>	<p>□文中に文言を追加</p>
P57	<p>第2編 各論</p> <p>第2章 8つの地域づくりの方向</p> <p>施策 1-2-2 「地域における活動拠点の充実」</p> <p>(主な取組内容；1項目目)</p> <p><u>区民活動センターの拡充</u></p> <p>町会・自治会、NPO、地区青少年育成委員会、PTA、大学など地域の団体の活動を促進し、より多様な地域団体の活動に供するため、<u>区民活動センターの拡充を検討します。</u></p>	<p>第2編 各論</p> <p>第2章 8つの地域づくりの方向</p> <p>施策 1-2-2 「地域における活動拠点の充実」</p> <p>(主な取組内容；1項目目)</p> <p><u>区民活動センターから地域活動交流センターへの機能拡大</u></p> <p>町会・自治会、NPO、地区青少年育成委員会、PTA、大学など地域の団体の活動を促進し、より多様な地域団体の活動に供するため、<u>従来の区民活動センターを地域活動交流センターへと名称変更し、インキュベーション機能を付加し、より多くの活動団体を支援します。</u></p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>

<p>P63</p>	<p>施策 2-1-1 「国際理解の推進」 (成果指標)</p> <table border="1" data-bbox="240 367 1291 525"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームビジットの件数</td> <td>25%</td> <td>30%</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	ホームビジットの件数	25%	30%	40%	<p>施策 2-1-1 「国際理解の推進」 (成果指標)</p> <table border="1" data-bbox="1350 367 2401 525"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームビジットの件数</td> <td>25件</td> <td>30件</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	ホームビジットの件数	25件	30件	40件	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、成果指標の単位を修正</p>
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
ホームビジットの件数	25%	30%	40%																
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
ホームビジットの件数	25件	30件	40件																
<p>P68</p>	<p>施策 2-2-1 「平和と人権意識の普及・啓発」 (現状と課題；5項目目)</p> <p>○ 児童や高齢者への虐待、配偶者等による暴力、<u>性同一性障害</u>への偏見、犯罪被害者や刑を終えて出所した人への偏見や嫌がらせ、特定の人種や民族への憎しみをあおるような差別的言動などの人権侵害の問題が次々に表面化しています。</p>	<p>施策 2-2-1 「平和と人権意識の普及・啓発」 (現状と課題；5項目目)</p> <p>○ 児童や高齢者への虐待、配偶者等による暴力、<u>性同一性障害など</u>のいわゆる「<u>性的少数者</u>」への偏見、犯罪被害者や刑を終えて出所した人への偏見や嫌がらせ、特定の人種や民族への憎しみをあおるような差別的言動などの人権侵害の問題が次々に表面化しています。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を追加</p>																
<p>P73</p>	<p>施策 2-3-1 「あらゆる分野における男女共同参画の推進」 (主な取組内容；あたまがき)</p> <p>男女共同参画社会の実現を目指し、区民の意識改革を進めるとともに、あらゆる場における男女共同参画の意識の普及・啓発を行います。</p>	<p>施策 2-3-1 「あらゆる分野における男女共同参画の推進」 (主な取組内容；あたまがき)</p> <p><u>男女平等推進センター(エポック10)</u>を中心に、男女共同参画社会の実現を目指し、区民の意識改革を進めるとともに、あらゆる場における男女共同参画の意識の普及・啓発を行います。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を追加</p>																
<p>P76</p>	<p>施策 2-3-3 「配偶者等暴力防止対策の充実」 (施策の目標)</p> <p>◎ 暴力は性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に、配偶者等からの<u>女性に対する暴力</u>は重大な人権侵害であり、男女共同参画社会の実現への大きな妨げとなっています。「豊島区配偶者等暴力防止基本計画」に基づき配偶者等による暴力の根絶を推進します。</p>	<p>施策 2-3-3 「配偶者等暴力防止対策の充実」 (施策の目標)</p> <p>◎ 暴力は性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に、配偶者等からの暴力は重大な人権侵害であり、男女共同参画社会の実現への大きな妨げとなっています。「豊島区配偶者等暴力防止基本計画」に基づき配偶者等による暴力の根絶を推進します。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>																

P84 施策 3-1-2 「総合的・包括的なケア基盤の充実」
 (現状と課題；表)
 ◆豊島区内の入所系施設整備状況（一部抜粋）

施設種類	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
障害者グループホーム	125	136	165	181	196
特別養護老人ホーム	546	546	546	546	558
認知症高齢者グループホーム	69	85	121	139	157

数値は定員数

P85 (主な取組内容；5項目目)
 区外特別養護老人ホームの整備に向けた調査・研究・検討
 区内における特別養護老人ホーム等の建設用地確保が困難であることから、区外における整備なども視野に入れ、新たな整備手法について調査研究及び実務的な検討を進めていきます。

P93 施策 3-2-2 「就労支援の強化」
 (主な取組内容；2項目目)
 経済的に困難を抱える方に対する就労支援の推進
仕事が見つからない、長続きしないなど就労に課題を抱える方に対し、就労意欲を喚起する働きかけ、就職先のあっせんやビジネスマナー修得に向けた支援等により自立を促進します。また、雇用と福祉の連携により継続的な個別支援を行い、就労先に定着できるようバックアップ体制を整備していきます。

施策 3-1-2 「総合的・包括的なケア基盤の充実」
 (現状と課題；表)
 ◆豊島区内の入所系施設整備状況（一部抜粋）

施設種類	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度末(見込)
障害者グループホーム	125	136	165	181	196	200
特別養護老人ホーム	546	546	546	546	558	752
介護老人保健施設	206	206	206	206	206	206
認知症高齢者グループホーム	69	85	121	139	157	157

数値は定員数

(主な取組内容；5項目目)
 区外における特別養護老人ホームの整備に向けた調査・検討
 区内における特別養護老人ホーム等の建設用地確保が困難であることから、区外における特別養護老人ホームの整備に向けた実務的な調査・検討を進めていきます。検討にあたっては、姉妹都市である秩父市と連携したCCRC構想と絡め、連携共有型の地域包括ケアシステムの構築を視野に入れていきます。なお、区内においても、地域密着型サービスである小規模の特別養護老人ホームの整備等を検討していきます。

施策 3-2-2 「就労支援の強化」
 (主な取組内容；2項目目)
 経済的に困難を抱える方に対する就労支援の推進
安定した就労に至らず経済的に困難を抱える方に対し、就労意欲を喚起する働きかけ、就職先のあっせんやビジネスマナー修得に向けた支援等により自立を促進します。また、雇用と福祉の連携により継続的な個別支援を行い、就労先に定着できるようバックアップ体制を整備していきます。

■パブリックコメントの意見を踏まえ、表を修正

■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正
 「特別養護老人ホーム整備等の新たな整備手法に関する調査研究会報告書」により記述を修正

■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正

P103	<p>施策 3-3-2 「こころと体の健康づくりの推進」 (主な取組内容；1項目目) としま鬼子母神プロジェクト事業の推進 豊島区の少子化に歯止めをかけ、定住化を進めるための結婚・出産・子育てと切れ目のない支援の充実に向けた支援事業（①女性のライフプラン形成のための専門相談（女性のための専門相談）、②としま育児サポート手帳を活用したとしま育児サポーター事業、③妊孕力啓発セミナー、④としま見る知るモバイル等）を実施します。</p> <p>(成果指標)</p> <table border="1" data-bbox="231 772 1299 930"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て世代の区内定着率</td> <td>62.0%</td> <td>65.0%</td> <td>67.5%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	子育て世代の区内定着率	62.0%	65.0%	67.5%	<p>施策 3-3-2 「こころと体の健康づくりの推進」 (主な取組内容；1項目目) としま鬼子母神プロジェクト事業の推進 豊島区の少子化に歯止めをかけ、定住化を進めるための結婚・出産・子育てと切れ目のない支援の充実に向けた支援事業（①女性のライフプラン形成のための健康相談事業（女性のための専門相談）、②としま育児サポート手帳、③としま育児サポーター事業、④としま見る知るモバイル、⑤妊孕力啓発セミナー、⑥妊産婦歯科健康診査事業、⑦鬼子母神 plus、⑧ゆりかご・としま事業）を実施します。</p> <p>(成果指標)</p> <table border="1" data-bbox="1341 772 2410 930"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て世代の区内定着率</td> <td>69.0%</td> <td>75.0%</td> <td>75.0%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	子育て世代の区内定着率	69.0%	75.0%	75.0%	<p>□「豊島区まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合を図り修正</p> <p>□「豊島区まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合を図り修正</p> <p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を追加</p> <p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p> <p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
子育て世代の区内定着率	62.0%	65.0%	67.5%																
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
子育て世代の区内定着率	69.0%	75.0%	75.0%																
P113	<p>施策 4-1-1 「子どもの社会参加・参画の促進」 (主な取組内容；3項目目) 中高生の地域活動への支援 中高生センタージャンプを中心に中高生が地域で活かせる保育や介護に必要な技術等を習得し、地域活動に貢献できるように実践の機会を提供します。</p>	<p>施策 4-1-1 「子どもの社会参加・参画の促進」 (主な取組内容；3項目目) 中高生の地域活動への支援 中高生センタージャンプを中心に中高生が地域で活かせる保育や介護、災害時などに必要な技術等を習得し、地域活動に貢献できるように実践の機会を提供します。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を追加</p>																
P120	<p>施策 4-2-1 「地域の子育て支援の充実」 (現状と課題；1項目目) ○ 近年、女性の社会進出が進み、保護者が働いている世帯が増加するなど、就労形態や生活スタイルが多様化しています。</p>	<p>施策 4-2-1 「地域の子育て支援の充実」 (現状と課題；1項目目) ○ 近年、女性の社会進出等が進み、保護者が働いている世帯が増加するなど、就労形態や生活スタイルが多様化しています。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>																
P122	<p>施策 4-2-2 「保育施設・保育サービスの充実」 (施策の目標) ◎ 女性の社会進出に伴って今後も増加が見込まれる保育需要に対応できる、地域のニーズに応じた保育施設を整備します。</p>	<p>施策 4-2-2 「保育施設・保育サービスの充実」 (施策の目標) ◎ 女性の社会進出等に伴って今後も増加が見込まれる保育需要に対応できる、地域のニーズに応じた保育施設を整備します。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>																

<p>P141</p>	<p>施策 4-4-3 「学校施設の整備」 (主な取組内容 ; 3 項目目)</p> <p>(成果指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築が完了した学校数</td> <td>5校</td> <td>10校</td> <td>13校</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	改築が完了した学校数	5校	10校	13校	<p>施策 4-4-3 「学校施設の整備」 (主な取組内容 ; 3 項目目)</p> <p><u>安心・快適な学校環境の充実 (学校トイレの緊急改善)</u> <u>児童・生徒が安心して学校生活を送ることができる快適な環境を整えるため、すべての小・中学校で和式トイレ等老朽化したトイレを洋式化するなど「清潔で明るく、入りやすいトイレ」を集中的かつ早期に改善を図ります。</u></p> <p>(成果指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築が完了した学校数</td> <td>5校</td> <td>9校</td> <td>13校</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	改築が完了した学校数	5校	9校	13校	<p>□学校のトイレ改修整備に伴う取組内容を追加</p> <p>□学校改築の見直しに伴う成果指標の修正</p>
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
改築が完了した学校数	5校	10校	13校																
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
改築が完了した学校数	5校	9校	13校																
<p>P144</p>	<p>施策 4-5-1 「新しい時代を拓く教育の推進」 (施策の目標)</p> <p>◎ <u>E S D (持続発展教育)</u> や教育の情報化、キャリア教育など、今日的な教育課題を踏まえ、豊島区の教育資源を最大限に活用した豊島区ならではの教育を推進します。</p>	<p>施策 4-5-1 「新しい時代を拓く教育の推進」 (施策の目標)</p> <p>◎ <u>E S D (持続可能な開発のための教育)</u> や教育の情報化、キャリア教育など、今日的な教育課題を踏まえ、豊島区の教育資源を最大限に活用した豊島区ならではの教育を推進します。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>																
<p>P145</p>	<p>(主な取組内容 ; 3 項目目)</p> <p>国際ナショナルセーフスクールの取組を活用した安全教育の推進 再認証を目指す朋有小学校や認証取得を目指す富士見台小学校の実践を基に、データに基づく科学的な手法を、全小中学校規模に広げ、安全で安心な教育環境づくりを推進します。</p>	<p>(主な取組内容 ; 3 項目目)</p> <p>国際ナショナルセーフスクールの取組を活用した安全教育の推進 <u>国際ナショナルセーフスクール認証校である朋有小学校や富士見台小学校</u>の実践を基に、データに基づく科学的な手法を、全小中学校規模に広げ、安全で安心な教育環境づくりを推進します。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>																
<p>P178</p>	<p>施策 6-1-2 「池袋副都心の再生」 (施策の目標 ; 3 項目目)</p> <p>◎ 都市再生事業と連動したエリア防災対策を進め、災害時の対応力を強化していきます。</p>	<p>施策 6-1-2 「池袋副都心の再生」 (施策の目標 ; 3 項目目)</p> <p>◎ 都市再生事業と連動したエリア防災対策と<u>地域エネルギーの高効率化</u>を進め、災害時の対応力と<u>都市の環境性能</u>を強化していきます。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>																

<p>P179</p>	<p>(主な取組内容；あたまがき) 池袋副都心の個性と魅力をより一層高めていくとともに、誰もが集い、憩える歩行者中心の都市空間を創出していきます。また、都市の機能更新に合わせて災害対策の<u>取組みを強化し、地域の防災性を高めていきます。</u></p> <p>(主な取組内容；3項目目) 池袋駅西口駅前街区まちづくりの推進 地元の権利者の皆さまと共にまちづくり事業を推進していきます。池袋副都心の玄関口にふさわしい、賑わいと個性を有し、環境と防災にも優れた池袋駅西口地区の再生を目指します。</p>	<p>(主な取組内容；あたまがき) 池袋副都心の個性と魅力をより一層高めていくとともに、誰もが集い、憩える歩行者中心の都市空間を創出していきます。また、都市の機能更新に合わせて災害対策の<u>強化と環境性能の向上に取組み、地域の総合的な</u>防災性を高めていきます。</p> <p>(主な取組内容；3項目目) 池袋駅西口駅前街区まちづくりの推進 <u>地域の権利者</u>と共にまちづくり事業を推進していきます。池袋副都心の玄関口にふさわしい、賑わいと個性を有し、環境と防災にも優れた池袋駅西口地区の再生を目指します。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p> <p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>
<p>P201</p>	<p>施策 6-4-1 「災害に強い都市空間の形成」 (主な取組内容；あたまがき) 震災を予防し、被害の拡大を防止するため、延焼遮断機能を高め、建築物の不燃化・耐震化、狭あい道路の拡幅や空地の確保などによる木造住宅密集地域の改善整備を進めるとともに、緊急輸送道路の機能確保に取り組みます。また、被災から早期に都市を復興する準備を事前に進めていきます。</p>	<p>施策 6-4-1 「災害に強い都市空間の形成」 (主な取組内容；あたまがき) <u>被害</u>を予防し、被害の拡大を防止するため、延焼遮断機能を高め、建築物の不燃化・耐震化、狭あい道路の拡幅や空地の確保などによる木造住宅密集地域の改善整備を進めるとともに、緊急輸送道路の機能確保に取り組みます。また、被災から早期に都市を復興する準備を事前に進めていきます。</p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>
<p>P214</p>	<p>施策 6-5-2 「交通安全対策の推進」 (現状と課題；1項目目) ○ 豊島区では平成24年11月取得のセーフコミュニティ認証により地域における安全・安心に対する意識が高まっています。また、自転車の安全利用については平成24年7月に東京都に先立って制定した「豊島区自転車の安全利用に関する条例」により各主体の責務を明確化しています。このような取組みの効果により事故件数及び事故による死傷者数は減少していますが、依然として<u>多くなっています。</u></p>	<p>施策 6-5-2 「交通安全対策の推進」 (現状と課題；1項目目) ○ 豊島区では平成24年11月取得のセーフコミュニティ認証により地域における安全・安心に対する意識が高まっています。また、自転車の安全利用については平成24年7月に東京都に先立って制定した「豊島区自転車の安全利用に関する条例」により各主体の責務を明確化しています。このような取組みの効果により事故件数及び事故による死傷者数は減少していますが、依然として<u>多い状況です。</u></p>	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p>
<p>P239</p>	<p>施策 8-1-1 「多様な文化芸術の創造と創造環境の整備」 (主な取組内容；3項目目) 国際アート・カルチャー都市の拠点としてのホールの整備と文化の発信</p>	<p>施策 8-1-1 「多様な文化芸術の創造と創造環境の整備」 (主な取組内容；3項目目) 国際アート・カルチャー都市の拠点としてのホールの整備と文化の発信</p>	

新たに庁舎跡地に整備される予定の（仮称）豊島区新ホール、区民センターを中心に既存の施設を文化芸術創造の拠点としてより有効に活用するための取り組みを積極的に図り、東京芸術劇場や民間の劇場、映画館等との連携を進めながら、多様な文化芸術活動を展開できる、まちへ発展させていきます。

（主な取組内容；4項目目）

文化創造環境の充実

廃校施設の暫定活用として始まった「にしすがも創造舎」については、拠点の一時移転に伴う事業規模の縮小など課題はあるものの、引き続き質の高い文化芸術にふれる機会の提供に取り組みます。

P252 **施策 8-2-3 「学びを通じた仲間づくり・地域づくり」**

（現状と課題；2項目目）

○ 区内6大学との連携による「としまコミュニティ大学事業」では、「人づくり」「活動づくり」「地域づくり」を基本コンセプトとした講座を開講しており、地域を変えていくリーダーの育成をめざしています。この事業をはじめとする生涯学習や生涯スポーツの活動成果を仲間づくりや地域づくりにつなげていく仕組みづくりが求められています。

P257 **第3章 新たな行政経営**

1 スリムで変化に強い行政経営システムの構築

（成果指標）

指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉
職員一人当たりの住民対応数	139人	（調整中）	（調整中）

新たに庁舎跡地に整備される予定の（仮称）豊島区新ホール、区民センターを中心に、あうるすぽっと（舞台芸術交流センター）など既存の施設と一体的、重層的に運営・活用しながら、東京芸術劇場や民間の劇場、映画館等との連携を進め、多様な文化芸術活動を展開し、国際アート・カルチャー都市としての発信力を高めていきます。

（主な取組内容；4項目目）

文化創造環境の充実

廃校施設の暫定活用として始まった「にしすがも創造舎」については、拠点の一時移転に伴う事業規模の縮小など課題はあるものの、あうるすぽっと、アートステーションZ、みらい館大明、地域文化創造館などをはじめ、文化創造環境の整備を進め、引き続き質の高い文化芸術にふれる機会の提供に取り組みます。

施策 8-2-3 「学びを通じた仲間づくり・地域づくり」

（現状と課題；2項目目）

○ 区内7大学との連携による「としまコミュニティ大学事業」では、「人づくり」「活動づくり」「地域づくり」を基本コンセプトとした講座を開講しており、地域を変えていくリーダーの育成をめざしています。この事業をはじめとする生涯学習や生涯スポーツの活動成果を仲間づくりや地域づくりにつなげていく仕組みづくりが求められています。

第3章 新たな行政経営

1 スリムで変化に強い行政経営システムの構築

（成果指標）

指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉
職員一人当たりの住民対応数	139人	146人	157人

■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正

■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正

■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正

□成果指標の前期・後期目標を記載

<p>P267</p> <p>P272</p>	<p>第4章 公共施設等のマネジメントシステムの構築 公共施設等のあり方（2項目目）</p> <p>○ 人口構成の変化から今後ますます高齢化が進み、介護施設や高齢者向けの住宅などの高齢者施設の需要が増加します。また、女性の社会進出が進むと考えられ、子育て支援施設のニーズも増加します。</p> <p>3 インフラ施設の適正管理等の方針 (成果指標)</p> <table border="1" data-bbox="231 619 1285 800"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽化した橋梁及び公園施設の長寿命化対策の進捗率</td> <td>橋梁33% 公園-%</td> <td>(調整中)</td> <td>(調整中)</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	老朽化した橋梁及び公園施設の長寿命化対策の進捗率	橋梁33% 公園-%	(調整中)	(調整中)	<p>第4章 公共施設等のマネジメントシステムの構築 公共施設等のあり方（2項目目）</p> <p>○ 人口構成の変化から今後ますます高齢化が進み、介護施設や高齢者向けの住宅などの高齢者施設の需要が増加します。また、女性の社会進出等が進むと考えられ、子育て支援施設のニーズも増加します。</p> <p>3 インフラ施設の適正管理等の方針 (成果指標)</p> <table border="1" data-bbox="1344 619 2398 800"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>平成27年度 〈現状〉</th> <th>平成32年度 〈前期目標〉</th> <th>平成37年度 〈後期目標〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽化した橋梁及び公園施設の長寿命化対策の進捗率</td> <td>橋梁33% 公園 0%</td> <td>橋梁100% 公園 24%</td> <td>橋梁100% 公園100%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉	老朽化した橋梁及び公園施設の長寿命化対策の進捗率	橋梁33% 公園 0%	橋梁100% 公園 24%	橋梁100% 公園100%	<p>■パブリックコメントの意見を踏まえ、記述を修正</p> <p>□成果指標の前期・後期目標を記載</p>
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
老朽化した橋梁及び公園施設の長寿命化対策の進捗率	橋梁33% 公園-%	(調整中)	(調整中)																
指標名	平成27年度 〈現状〉	平成32年度 〈前期目標〉	平成37年度 〈後期目標〉																
老朽化した橋梁及び公園施設の長寿命化対策の進捗率	橋梁33% 公園 0%	橋梁100% 公園 24%	橋梁100% 公園100%																

基本計画（案）に掲載する用語解説一覧

頁	用語	頁	用語
48	地域区民ひろば	129	ハイパーQU
55	地域区民ひろばインターシップ事業	133	豊島教員ミニマム
55	シニア変身講座	139	学校運営連絡協議会
63	オリンピック・パラリンピアン	141	ヘリサイン
63	ホームビジット	155	グリーンとしま再生プロジェクト
74	ワーク・ライフ・バランス	161	いのちの森
75	イクメン・カジダン・イクジイ写真展	168	3R
77	パープルリボン	182	オープンカフェ
82	コミュニティソーシャルワーカー	182	マルシェ
83	認知症サポーター	182	エリアマネジメント
83	認知症カフェボランティア	183	ダンベル型都市づくり
85	地域ケア会議	188	リノベーション
85	CCRC	193	LRT
87	サポートとしま	195	管理橋梁の健全度A
91	アウトリーチ活動	200	木密地域不燃化10年プロジェクト
94	ユニバーサルデザイン	209	ビックリガード
95	介護予防サロン	215	スケアードスト・レイト授業
95	ヘルプカード・ヘルプマーク	220	豊島ビジネスサポートセンター
97	通いの場	221	サクラヌbiz
103	としま鬼子母神プロジェクト	222	インバウンド
103	妊孕力啓発セミナー	232	TOSHIMA Free WiFi
103	としま健康チャレンジ！マイレージ制度	237	ハイカルチャー
112	子どもスキップ	237	サブカルチャー
112	ジャンプ	239	アートステーションZ
116	スクールソーシャルワーカー	243	ゲートウェイシティ
121	子育てインフォメーション	244	フェスティバル/トーキョー
121	ゆりかご・としま事業	249	文化カレッジ
127	チューター事業	257	PDC Aサイクル
127	アクティブラーニング	257	ビルド・アンド・スクラップ
127	情報リテラシー	261	オープンデータ
129	人権の花		